

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 7年 3月 10日

事業所名 ルアナ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			基準のスペースを確保しています。	活動を分けた空間作りで工夫をしていきます。
	②	職員の配置数は適切である	10			10:2以上の適切な職員の配置を図っています	お子様に合わせた個別での対応もしていきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10			改善が必要な所は共有し、補修などを行っている	設備等の点検を定期的に行い、気付いた点を共有し合い、フロア内でお子様及安全に過ごせるよう事業所の設備に配慮していきます。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10			年間目標を立て全体ミーティングや日常の申し送りの中で支援や業務の振り返りを行っています。	職員間でいつでも相談出来る環境作りをしていながら、支援の見直しや振り返り、今後の対応を全体で把握できる取り組みを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			年に一度実施しております。	アンケート調査の他、保護者様のご意向等を把握できる体制をとって業務改善へ繋げていきたいと思っております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			毎年ホームページにて公表しております。	事業所内にも閲覧出来るよう会報として出していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	3	現在は評価を受けるまでに至っておりません。	今後、第三者評価を受けられる機会があれば業務改善に繋げていきたいです。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2		関係機関が開催する研究会や講義に参加しています。定期的な個人面談で不安な点や相談等話しています。	午前中にリモート研修などが受けられると参加しやすいかなとも思いません。地域や市の研修会で参加出来る日程があるか検討していきたいです。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10			児童発達支援管理責任者が保護者様からアセスメントを取り、計画書の作成をしています。モニタリングでは担当者会議やミーティングを通して情報共有しています。	十分なアセスメントを取り、保護者様のご要望やニーズに合わせていながら、児童様の課題を分析して支援計画を立てていきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2		支援プログラムの作成を行い活用していけるようにしていきます。	児童さまの状況・状態を把握していき課題の設定を行いながら個別・小集団それぞれに取り組めるようにします。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	10			イベント行事を担当制にすることで全体的に取り組めている	イベントの提案表にて案を出してもらうことで偏りなく全体的に考えや意見を出せているので、今後も向上させていきたいです。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			室内での活動、公園等などは固定化しやすい	新しいことや、変化を感じるプログラムの提案を行っていき、様々な活動が出来るよう工夫していきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	2		事前にMT等でイベント立案を出し合って、平日と休日の過ごし方を考えている	平日の下校時間に合わせた学習や活動と休日に取り組める課題や活動をそれぞれ考えていきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10			一人ひとりに対しての支援方や声掛けの工夫を考えて伝えられている	お子様に合わせた個別の活動や集団の中に入る活動が出来るよう、切り替えや促しの工夫を職員がそれぞれ対応し、支援しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	10			申し送りノートやスケジュール表の提示をして各職員が取り組めるよう工夫している	長期休みなど、打ち合わせが十分でない時は連絡ノートやボードの活用をしていき、情報の共有が取れるようにしていきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	2		その日のうちに振り返りが出来ない事や参加することが出来ない事もある	退勤時間が異なる職員もいるため、連絡ノートに目を通してもらったり、緊急性が高いことについてはグループLINE等で共有しています。周りの職員から状況の説明も出来るようにしていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			個人日誌に活動の様子や気になったことの記録をし、改善に繋げています。	支援の振り返りや児童の変化に気付ける体制にし、記録をもとに検証や改善に繋げていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	10			半年に一度の計画の見直し を行っています。	児童の変化や課題に見直しが必要だと判 断した時や、関係機関でのケース会議が あった際には支援、計画書の見直しを行っ ていきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	9	1		ガイドラインに沿った内容を 参考にして取り組んでいます。	事業所内でガイドラインを閲覧しやすい環 境を作って定期的に見直しができるように していきます。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	10			基本的に児童発達支援管 理責任者が参加していま す。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	10			送迎時に学校の先生より引 継ぎをしてもらえることがあ ります。 普段と違った事があるときな ど、確認できるように対応し ています。	気が付いたことは事業所から発信してい きます。 下校表などは学校側からの提示もありま す。保護者様からのご提示のご協力が 多く助かっています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る	4	6		現在は医療的なケアが必要 な児童はいません。	医療的ケアが必要な児童様の受け入れが ある際には主治医の先生の助言や指導を もとに参考にしています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	3	6	1	現在は園へ直接的に連絡 や訪問をする機会がありま せん。	保護者様からの情報提供として、就学前 の記録や状態を参考にさせて頂くことはあ りません。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	2	7	1	現在は福祉サービスへ移行 された児童さまがおらずそ のような機会はありません。	今後、福祉サービスへの移行がある際は 進路先への情報提供や連携が取れるよう 準備をしていきたいと思ひます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	7	3		研修のお知らせをもらえるこ ともあり、参加に繋がってい ます。 全体会議等で情報の共有が 出来ています。	専門機関との連携を増やして、様々な分 野で特性の理解や知識の向上などに繋が る研修に参加していきたいです。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 害のない子どもと活動する機会がある	8	2		児童館や公園遊びで地域 のお子様との交流がございま す。	地域のイベントなどで参加できる機会を増 やせると良いと思ひますので、情報収集も していきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	9	1		今年度の市の協議会へ参 加させていただきました。	管理者が参加をして資料の共有等を行っ ております。色々な事への気づきを考へて いきたいと思ひます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っている	10			連絡帳や送迎時でのお伝え などでお話しさせていただい ております。また課題等につ いてはお電話で相談をする ことや面談にて対応してい ます。	職員間での連携・情報共有をしっかりと 行つたうえで保護者様への対応を行い、 伝えていけるよう努めていきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	10			ご家庭で悩んでいることやご 相談等があった際には事業 所での支援の取り組みや工 夫などをお伝えしています。	保護者様へのケアやサポートが必要な際 にはご相談に応じて対応していきたいと思 ひます。
	保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	10			ご見学時やご契約時にご説 明をさせて頂いております。
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	10			管理者・責任者が解決に繋 げていけるようご相談に対 応しております。	必要に応じて相談事業所や学校との情報 共有を行います。
㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支 援している	6	2	2	現在まで保護者会の機会を 設けてはいません。	デイを通じて保護者様同士の関わりなども 見られております。 保護者様からのご要望があった際には開 催の検討もしていきたいと思ひます

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護 者 へ の 説 明 責 任 等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			職員間で報連相を取り、情報の共有を行い、保護者様へ状況の説明が出来るよう取り組んでいます。	管理責任者が迅速に解決に向けて対応します。苦情があった際にはその原因を話し合い、職員間全員で共有して改善に努めてまいります。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10			毎月のお便りの発行や、ホームページ・SNS等で活動の報告をしています。	月のスケジュールや活動内容が保護者へわかりやすく伝わる取り組みをしていきます。
	③⑤	個人情報に十分注意している	10			全職員、個人情報の取り扱いについて周知してもらい、定期的にミーティング等の機会に再認識しています。	職員各自で様々な場面で意識できる体制にしていけるよう、振り返りや再認識を行っていきます。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			お子様の特性を周知し、保護者様への配慮も出来るよう心掛けております。50音表などの活用もしている	障がい特性に対して各職員が適切な声掛けや伝え方が出来るよう、気持ちに寄り添える支援を心がけていきます。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	2	1	地域のボランティア活動団体に依頼して、子供たちとの触れ合いを取っています。	今後も定期的に長期休みなどのボランティア団体の方と交流を取る機会を増やしていけたらと思います。
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10			各マニュアルを整備しております。ご契約時にご説明もさせていただきます。	事業所内にもファイルで閲覧出来るよう、設置しておりますので、ご見学時やご面談時に見て頂けたらと思います。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			防災訓練を年に2回行っております。	防災訓練の他、立川防災館での体験訓練も取り入れていますので、今後も様々な体験を行い、活かして行けたらと思います。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			虐待防止委員会を設置し、定期的に虐待防止についてのミーティングを行っております。	日常の申し送りや振り返りを必ず行いながら、普段の気付きをしっかりと把握していけるよう職員間で意見を出し合える環境作りをしていきます。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10			やむを得ず一時的に身体拘束を行うことが本当に必要か、他に方法がないかを適切に判断したうえで保護者様へ説明・了承を得ています。	身体拘束が必要な場合、計画書への記載とともに、保護者様と必要性の確認をしっかりと話し合っていきます。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	2		ご家庭からのアレルギー提示がある児童様の受診結果資料を頂いて把握して対応を取っております。	おやつや昼食のご提供時には全職員が食材の分別・アレルギー表を作成したものを活用しています。改善すべき点があれば改善できる対策を変えてけるよう努めていきます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			ケガや事故に繋がる行動や危険性があった時には、ヒヤリハットの記録作成を行い、全職員間で情報の共有をしています。	ヒヤリハットをもとに改善すべき点を考え、防止出来ることを全体で話し合い、振り返りを行っていきます。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。